



山 紫

やまむらさき



雪のほちゃんこ池
2024.02.05
AM 10:47

《5つのいっぱい運動》あいさついっぱい、花いっぱい、歌いっぱい、読書いっぱい、運動いっぱい

◇◇◇ 「逃げる2月…」 ～ とても短く感じます。 ～ ◇◇◇

令和5年度の第3学期が始まり、早2ヶ月が過ぎようとしております。学校では2日（金）に1日入学を実施するなど、新年度への準備も着々と進めております。一方、学習面では一年間の総まとめの時期であり、理解が十分でなかった部分の補充をしたり、定着を図ったりしていきます。生活面では、友達や自分自身のよさを再確認し、学級としての団結力を高める時期でもあります。また、6年生を送る会や卒業式など大きな行事への準備が始まります。これらの行事は、子どもたちの自立を促し覚悟をもたせる大切な行事でもあります。子どもたちにとってより意義のあるものになるように工夫して実施したいと考えております。

立春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続いています。県東地区ではインフルエンザや感染性胃腸炎などの流行が見られ、児童の健康面の配慮が必要です。また、道路の凍結や降雪によるけがなど登下校の安全面にも注意が必要です。子どもたちが健康で安全な学校生活が送れるよう、保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

◇◇◇ 野球しようぜ！ ～ 大谷翔平選手からグローブが届きました。～ ◇◇◇

今、世界で有名なプロスポーツ選手といえば？ 間違いなく大谷翔平選手もその一人に数えられるでしょう。昨年も二刀流として大活躍したのはみなさんご存じのとおりです。

かねてからニュース番組や新聞などで、大谷選手が「日本全国全ての小学校にグローブをプレゼントする」ということを知っていた方が多いかと思います。そのプレゼントが益子小にも届きました。右利き用のグローブが2つ（大・小）、左利き用のグローブが1つ、いずれも大谷選手が使用しているグローブと同じもの（レプリカ）です。



「校長室に飾るというようなことはしないでほしい」という大谷選手の強い意向を踏まえ、本校ではたっぴりと児童に使わせたいと思います。まずは、授業参観当日に子どもたちはもちろん、保護者の皆様にもお披露目させていただきました。

◇◇◇ 臨海自然教室 ～ 栃木県の海を満喫 ～ ◇◇◇

2月5日（月）～7日（水）の2泊3日で5年生が、とちぎ海浜自然の家へ臨海自然教室（宿泊学習）に参加してきました。1日目は、日本製鉄の工場見学から入所式、益子西小との合同での館内オリエンテーリング、2日目は、グラウンドゴルフ、塩づくり、壺焼きいもづくり、3日目は、創作活動（貝の根付け）、海の展示館見学、退所式というプログラムで、3日間を心から満喫してきました。

2泊3日の宿泊学習は4年ぶりでしたが、皆で協力して、楽しく、元気に過ごすことができました。



◇◇◇ 感謝の会 ～ ありがとうございます。～ ◇◇◇

学校は、多くの方々の御支援・御協力の下に、成り立っていると申しても過言ではありません。保護者のみなさまはもちろん、多くの地域の方々にもお世話になっているのです。益子小では、そうした方々へ感謝の気持ちを表すため、例年、2月に『感謝の集い』を実施してきました。コロナ禍のため、この3年間は中止であったり、一部オンライン形式で実施したりするなど、全員参加での実施はできませんでしたが、今年度は4年ぶりに通常の対面方式で、19日（月）に実施することができました。

体育館に交通指導員様とスクールガード様をお招きし児童全員でお迎えしました。本来ですと4名の交通指導員様、1名のスクールガード・リーダー様、10名のスクールガード様、1名の登校指導をしてくださっている地域の方、計16名の方々に直接感謝の意をお伝えしなければならないのですが、今回は都合により欠席された方もいらっしゃるため、交通指導員様2名、スクールガードリーダー様1名、スクールガード様4名の方々に参加していただきました。

16名の方々は、毎日、子どもたちが安全に登下校できるように、交通事故防止や防犯に気を配るなど、本当によく子どもたちを見守ってくださっている方々です。暑い日でも、寒い日でも、風の強い日でも、土砂降りの日でも、雪の日でも、とにかく、どんな日であっても、とにかく毎日です。遠い地区から子どもたちと一緒に歩いて来てくださる方、そして、中には、学校まで子どもたちと来て、様々な情報を提供してくださる方もいます。『おもしろい駐車場』付近で車の整理をしてくださっている方々もいます。横断歩道や交差点で子どもたちが安全に横断できるように交通整理をし、横断させてくださっている方々もいます。御自宅付近で子どもたちを見守ってくださる方々もいます。とにかく、子どもたちのために一生懸命、御尽力いただいているみなさまには、頭が上がりません。

おかげさまで、今年度も大きな事故や事件等に子どもたちが巻き込まれるような事案は1件もありませんでした。この場をお借りしまして、改めてお礼申し上げます。

「1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。」



をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年が、保護者の皆様・地域の皆様にとりまして幸多
き年となりますようお祈り申し上げます。

12月は例年になく暖かく穏やかな年末でしたが、年
が明けた1月1日の元日、能登で震度7の大地震が発生
しました。東日本大震災以来の大津波警報も発表され、
甚大な被害となりました。お亡くなりになられた皆様に
謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心
よりお見舞い申し上げます。私も富山に親族がおります
が、今までにないような地震の大きさの恐怖と、いつま
た余震が来るかという不安で眠れない日々が続いてい
るそうです。お正月にもかかわらず、地震発生から地元
の消防、警察の方々、派遣されている自衛隊の方々を中
心に、救済にご尽力されている皆様には尊敬と感謝の気
持ちしかありません。

1月10日(火)は、久しぶりに子どもたちの明るい声が校舎に響き合い、活気あふれる中、第3学期をスタートさせることができました。感染症予防のため始業式は予定を変更してオンライン形式で実施しましたが、冬休み中に大きな事故・けが等もなく、全員が無事に始業式を迎えられたことを心からうれしく思います。私からは、3学期は「まとめ」をキーワードとして、「締めくくりをしっかりと、次の学年へつなげていこう」という旨の話しました。

いずれにしても、年のはじめは、多かれ少なかれ気持ちが改まるものです。その心境の変化を何かしらの決意に変え、新たな気持ちで3学期をスタートさせてほしいと思っています。未来への可能性に満ちた子どもたちが、大きくはばたく1年となるよう、教職員一同更に気を引き締めて頑張っていきます。3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

◇◇◇令和4年を振り返り～楽しい冬休み、希望あふれる新年のスタートを～◇◇◇

12月5日(月)には、警察スクールサポーターの小林様、益子交番巡査長の大橋様、益子中学校区スクールガード・リーダーの秋山様を講師としてお招きし、不審者対応の避難訓練・防犯教室を行いました。はじめに不審者侵入を想定しての避難訓練を行い、小林様から教職員の不審者への対応について、様々な御指導をいただきました。その後、児童に対する防犯教室を、実地及びオンライン形式で分散

化して行いました。その際、小林様と秋山様から3つの合言葉を教えていただきました。①「いかのおすし」：危険を回避するための合言葉、②「ひ

まわり」：危険な場所を見分ける合言葉、③「はちみつじまん」：不審者を見分けるための合言葉です。紙面の都合上、詳細は省きますので、お子様に確認していただければと思います。その後、代表の児童と小林様、大橋様による不審者対応のロールプレイング(役割演技)を行い、不審者から避難する対応方法などを学びました。子どもたちはみな自分の命を守るために真剣に参加していました。平成13年6月の「大阪教育大学附属池田小学校での事件」、平成17年12月の「吉田有希さんの事件」のような悲しく不幸な事件が二度と起きないようにしていきたいと考えております。



12月1日(水)に予定されていた校内持久走大会が延期され、12月14日(水)の実施となりました。遠方の駐車場、人数制限、分散観戦、拍手による応援、速やかな移動等、感染症対策に御協力いただき、さらには、延期したにもかかわらず、多くの保護者のみなさまに御来校いただきました。ありがとうございました。どの学年においても、子どもたちがその子なりの目標・めあてに向かって一生懸命頑張っている姿、そして、最後の子どもがゴールするまでみんなで応援している姿が印象的でした。個人的にうれしかったことは、参加できた子どもたち全員が完走できたことです。1人も途中で棄権してしまう子どもがいませんでした。そして、もう一つ、転倒した子を助けようとして優しく手を差し伸べてくれた子がいたことです。ずっと言い続けている「いつでも、どこでも、誰にでも、何にでも、自分にも、やさしく」を必死になって走っているその真ただ中に見せてくれたのです。最後まであきらめないでやりぬく心、苦しさに負けない心だけでなく、あたたかな優しい心も確実に育てているのだなと思いました。



さて、いよいよ年の瀬が押し迫ってきました。さすがに12月に入ると一年の総括をしなくてはなりません。振り返って見ますと、まん延防止等重点措置、オミクロン株、感染症対策、休業、行事変更、陶器市、いちご一会とちぎ国体・全国障害者スポーツ大会、FIFAワールドカップ等々…、やはりコロナ感染症対策関係のことが真っ先に思い浮かびます。先が読めない時代になってしまいましたが、それでも、保護者や地域のみなさまの御協力により、児童はみな元気に今年を終えようとしています。現在、全国的に第8波到来ということで、再び感染者数も増加しているようですが「備えあれば憂い無し」、学校としてはこれまで同様、子どもたちの健康・安全を第一に、感染症予防に努めてまいります。その上で、少しずつでもできることを工夫して実施していくことが必要だと考えています。年明けの1月からは、来年度に向けての準備作業にも取り組んでいきます。いまだ収束しないコロナ禍の中、益子小学校の児童にとって、どうすればより教育効果

が高まるかを中核に据え、着実に「備え」を充実させていきたいと思ひます。

もうじき冬休みです。家庭や地域では年末年始の様々な用事や行事があることと思ひます。また、お正月になれば親戚が集まったり、外出したりする機会も多くなります。子どもたちには新年を迎えるにあたり、新しい生活様式を踏まえた上で、今までの学習や生活面をしっかりと振り返り、新たな目標を立ててほしいと思ひます。家庭では、家族や地域の一員としてがんばれるように、是非出番や役割を与えてください。充実した冬休みにするために、子どもたちには次のことにごんばってほしいと思ひます。

新しい生活様式を踏まえた上で、

1 規則正しい生活をしましょう

自分で学習や運動、家族の一員としての手伝いなど1日の計画を立て、早寝早起きに努めましょう。また、この時期にしかできない体験にたくさん挑戦しましょう。

2 健康で安全に過ごしましょう

食べ過ぎや夜更かしに注意しましょう。また、年末年始には多くの人で町がにぎやかになります。町へ出かけるときは、3密を避け、誘拐や交通事故にあわないように気を付けましょう。

3 いろいろな人との交流を深めましょう

親戚の人や地域の人など、冬休みには多くの人との出会いがあります。挨拶や礼儀などに気を付け、交流を深めましょう。

1月10日(火)には、子どもたちの「おはようございます」「おめでとうございます」の元気な声で、益子小学校の令和5年のはじまりを迎えたいと思ひています。



1年 算数：足し算
《5つのいっぱい運動》あいさついっぱい、花いっぱい、歌いっぱい、読書いっぱい、運動いっぱい

4年 算数：面積

5年 国語：大造じいさんとがん

◇◇◇ 読書いっぱいの秋 ～授業？「読み聞かせ」～ ◇◇◇

夕暮れが早くなり、朝夕は肌寒さが増してきました。学校周辺の木々は次第に赤や黄色に染まり、秋の深まりを感じる今日この頃です。

2学期もいよいよ後半に入ります。現在、栃木県は警戒度レベル2<警戒を強化すべきレベル>となっていますが、いまだに新型コロナは収束していない状況です。第8波の到来とインフルエンザの同時流行が懸念される所ですが、感染対策を十分行いながら、できることをしっかりと充実させていきたいと思ひます。

「ああ、おもしろかった！」「校5年 国語：大造じいさんとがん舎先生、おもしろかった！」9日(水)の朝、「職員による読み聞かせ」をした後に、1年生の子どもたちから頂戴した、ありがたい言葉です。7月に第1回目があり、とても盛り上がりましたが、今回も大いに盛り上がりました。誰もが、顔中くしゃくしゃにして、げらげら笑い転げながらも集中して聴いていました。私が読む前に、次のページに書いてあると思われる言葉を子どもたちが予想して読み始めるといふ魔法のような瞬間も飛び出します。それが見事にはまります。だからまた、みんなで大爆笑。最後はちゃんと、「めでたし、めでたし」。

お話自体は誰でもよく知っている日本のむかし話です。ですが、どうしてあんなに盛り上がりってしまったのかは、永遠の謎です。私自身、久しぶりの「子どもたちの前に立っての授業」のような意識で読み聞かせをしたため、「張り切りすぎてしまったかな、他のクラスに迷惑をかけてしまったな」と少しばかりの反省もしております。ただ、年度当初から、「どんな本で、どんな読み聞かせをし、どんな感想をもたせてあげようかな」と「作戦」だけは練っていました。ねらいは、「自分も子どもたちも読み聞かせを楽しむ！」の一点でした。

実は、毎日学校で行われている授業についても、前述の私の言葉で言うところの「作戦」にあたりませんが、先生方は日々、各教科等の教材の開発や研究をしています。どうすれば子どもたちの興味が高まるのか、どんな教材をどのように使えば、意欲が高まるのか、どうすれば自分の考えを上手く表現できるのか、どうすれば話し合いが成立するのか、どうすれば学力が向上するのか等々、広く深く研究をしています。そうして研究したことを踏まえた上で、子どもたちの発達段階や実態に応じ、授業を展開しているのです。

さて、今年度の読み聞かせは、全て終了しました。機会があればまた「ああ、おもしろかった！」「校長先生、また来てね！」と言ってもらえるように、子どもたちと一緒に読み聞かせを楽しみたいと思ひています。「めでたし、めでたし」。

